

奈良市景観審議会第16回風致デザイン部会 会議録について

開催日時	平成24年4月11日(水) 14時から15時30分まで	
開催場所	奈良市役所 中央棟 6階 第二研修室	
諮問案件	近鉄奈良駅前行基広場の屋根設置工事について	
出席者	委員	大橋委員、川崎委員、菅沼委員、今井委員、水野委員
	事務局	東井都市整備部長、能勢建設部理事兼都市整備部理事 平田まちづくり指導室長、景観課(仲谷、荻田、徳岡、吉田)
	事業者	奈良県土木部道路・交通環境課 課長 堀内 秀格 奈良県土木部道路・交通環境課 課長補佐 岡部 共成 奈良県土木部道路・交通環境課 漕江、松山、中本、三木 奈良県土木部営繕課 迫田
開催形態	公開 (傍聴人 3人)	
決定事項	別紙答申書のとおり	
担当課	都市整備部 まちづくり指導室 景観課	

議事の内容(要旨)

菅沼部会長	<p>それでは、会議に入る前に本会議が成立しているかどうか事務局より報告願います。</p>
仲谷課長	<p>本日の出席状況を報告します。</p> <p>委員6名中、5名のご出席をいただいておりますので、奈良市景観審議会規則第4条第2項により過半数のご出席をいただいております。本会議は、成立しております。</p> <p>なお、本日の景観審議会風致デザイン部会は、去る1月25日に開催いたしました、景観審議会の全体会議にてご審議いただいた議案でございます。</p> <p>全体部会において風致デザイン部会に付託された議案でございます。</p> <p>近鉄奈良駅前行基広場の屋根につきましては、奈良の玄関口としてまちづくりの上で必要なものであるとの観点から計画されたものでございます。</p> <p>当審議会では、この大屋根の計画につきまして、景観上の観点からデザインや周辺への調和についてのご審議をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、部会長、よろしく申し上げます。</p> <p>本日の審議案件は、先ほど説明があったように、1月に開催された全体会議で、設置を前提にデザインについて、風致デザイン部会に付託された案件でございます。</p> <p>本日は、1時間を目処に、審議をお願いします。</p>

菅沼部会長	それでは、「近鉄奈良駅前行基広場の屋根設置工事について」事務局より説明願います。
事務局	事務局から事業説明
菅沼部会長	ありがとうございました。 今の説明について、何かご質問、ございますか。 説明に対してのご質問は、ございませんね。 それでは、事業について、ご意見等ありましたらお願いします。
水野委員	最初の3ページが、現在の状況で、計画パースについては、14ページが、同じものですか。 昨日も見比べてみたんですが、同じような感じですね。 色は、色々と変わっている案が出されているわけですね。
仲谷課長	資料に使われている写真については、すべて同じ写真でございます。
今井委員	9ページの現計画案を基にして、屋根のサッシの色等を変えている案が出されているという理解でよろしいですね。 比較案も3案出されていますが、この3案については、現計画案と違うのですね。
川崎委員	計画については、鉄骨と木造と検討されているわけですね。
水野委員	木造になれば、全体が太くなるイメージですね。 この木造の計画だと、影が多くなりますね。 木だから柔らかいという感覚が一方では、ありますが、その一方で、開放性がなくなりますね。
菅沼部会長	確かに柱の本数は全然違いますね。
水野委員	駅を降りて出てきたところになる訳ですから、印象が「奈良の町」が暗く見えるか、明るく見えるか、どういう印象を与えるか非常に大きな問題ですね。 普通なら、木造の方が良いように思いますが、気になりますね。 あと、柱が丸柱になっていますね。 鉄骨の柱に木を巻かれている計画ですね。 柱に鉄骨で巻いてあるわけですね。
川崎会長	鉄骨を巻かずに、木で通すことは、出来ないんですか。

水野委員	私は、逆に鉄骨の輪が、あるほうが良いと思いますね。
菅沼部会長	計画された方にお聞きしたいんですが、この柱については、東大寺などの奈良の建物をイメージされたのですか。
奈良県	おっしゃるとおり、奈良にある建物をイメージして計画しております。
水野委員	昔、材木が悪い時代なんかは、太い柱が使われていましたが、鉄骨を利用することで細く出来ている点では、非常に効果的だと思います。 また、材木をこういう形で見せるのは、ひとつの方法ですね。 木造の案を見ても柱の圧迫感があり、この案では、なぜ柱を四角にしているのかと思いますし、この案は、良くないと思いますね。
今井委員	私も角材で計画されている案は、良くないと思います。
水野委員	高さについて、私は、高いほうが良いと思います。 示されている7メートルの案よりも11メートルの案の方が良いと思います。 この屋根をあげた時に、正面に見える矢印と「ひがしむき」という看板が見えてくるわけです。 屋根を作ることによって、この看板を作り変える必要があると思います。 駅前に屋根が出来ることによって、正面化されるわけです。 それに併せて、今までは良かったものであっても、何らかの方策が、必要になると思います。 県が、出来るのか解りませんが。
川崎委員	商店街の看板ですから、すぐには出来ないかもしれませんが、次に作り変えるときには、何らかの方策をして欲しいですね。
水野委員	そうですね。屋根が出来ることによってイメージが変わるわけですから、早急の手立てをして欲しいですね。 また、屋根を作ることによって正面化する店舗についても、看板やデザインについて配慮してもらう必要がありますね。 駅から出てきたときに、真正面に見える店舗なんかも、覚悟をもって、店舗のデザインを考えて欲しいと思います。 また、現地を実際に見て感じたことですが、駅を出たときに県が立てれた看板なんかもあります。 周囲の方も奈良の駅前という意識があまりなく、看板なんかも統一性の無いものばかりになっています。 奈良の駅前を綺麗にするのは、誰なのかという意識を持って欲しいですね。 屋根を作ることによって駅前を整備するなら、周囲の広告も建物の形も考えて欲

しいと思います。

これは、奈良市としても奈良県としても駅前としての整備を全体として考えて欲しいと思います。

今、屋根を作るかどうかで話をしていますが、そうではなくて、全体計画が必要だと思えます。

よその市町村なんかでも、今、駅前整備を盛んにやっています。

どういう建物が来て、どういう店舗を配置するかとか考えられています。

ですので、屋根のことだけを取り立てて問題になっているのはおかしいと思えます。

私の考えとしては、屋根を高くすることによって、後ろの三角屋根が、見えなくなり、大きな広告も見えなくなるので、高さをあげていただく方が、良いと思えます。

あと、柱は、丸くして欲しいという点ですね。

それと現在、駅前広場にある石や看板の整備は、どうされるのでしょうか？

屋根だけを考えているのは、おかしいと思えます。

店舗にいうだけではなく、県と市が協力して整備して欲しいと思えます。

また、将来は、この床タイルも貼り替えて欲しいと思えます。

今回作られる屋根の柱の位置と併せて、割付を考えて欲しいと思えます。

また、タイルによって道と広場を分けるのではなく、この広場は、道でもあり広場でもあるわけです。

この広場は、利用する人が、自由に音楽やったりできる広場にして欲しいと思えます。

奈良にとって非常に大事な空間なんです。

私は、奈良が駅前整備で一番遅れていると感じています。

また、今回の屋根が出来ることによって、地面に影がたくさん落ちないようにして欲しいですね。

トラスもなるべく細くして、空の感じ感じれるようにもして欲しいと思えます。

屋根が出来ることによって、雨よりも雪の日が良くなると思えます。

今のタイルは、雪が積もると非常に滑りやすくて危険です。

また、駅前という位置づけが、なされていないためか、駅前に集合をかけると、参加者は、迷います。

その辺も考えていただいて、市としても県としても、積極的に駅前の位置づけを良く考えて、今回の計画も進めていただきたいと思えます。

道路ばかりではなく広場も含めた計画をお願いしたいと思えます。

屋根だけにとらわれて論議することは、非常に小さな論議だと思えます。

川崎委員

私も水野先生の意見にまったく同感です。

資料にもありますが、周囲の建物を含めて、正面の印象がバラバラで、電柱も看板も色々ありますね。

高さについては、断面図で示されていますが、周囲を考えて考慮すべき点だと思

	<p>います。</p> <p>また、影についてもトラスの色をホワイトグレーにすれば、光も反射しますし、影の対策にもなりますし、屋根の印象も軽くなるんじゃないかなと思います。</p>
水野委員	<p>そうですね。</p> <p>屋根からの光については、たくさん入ってくるように考えて欲しいです。</p> <p>後々、埃や落ち葉の対策なんかの掃除をどこがするのも踏まえて、将来的なことも考えておいてください。</p>
大橋委員	<p>今、水野委員がおっしゃっておられた、屋根の高さですが、案に示されている高さで良いということでしょうか。</p>
水野委員	<p>はい。その高さで良いと思います。</p> <p>これ以上、高くしてしまうと、東向き商店街と高さが合わなくなってしまうと思います。</p>
大橋委員	<p>私もその意見に賛成です。</p> <p>以前、私も意見を言わせていただいたんですが、道路側の歩道まで、屋根を広げると、車の乗り降りをされる方が、雨に濡れないのではないと思うのですが、その点は、どうなのでしょう。</p>
奈良県	<p>今回の計画地は、近鉄の敷地になり、道路は国になります。敷地をまたいで建築することは、建築基準法により、出来ません。</p>
今井委員	<p>前回の全体会議は、欠席しましたので、議論の流れについて、少し理解できていない部分もあるのですが、近鉄ビルは、非常に主張をもってモダンな建物になっています。近代的な建築物と思います。</p> <p>今回、作られる屋根についてもビルとの調和も考えていただき、広場としての主張も考慮して奈良らしさとしての調和を図って欲しいと思います。</p>
川崎委員	<p>今、今井委員が言われた、奈良らしさというイメージを伝えるには、この計画に示されている木の柱が、良いんじゃないかと思います。</p> <p>柱についても、木を巻かずに細い方が、良いとは思いますが、この木の質感があることによって、イメージが良いと思います。</p> <p>柱が、奈良らしさの主張をしていると思います。</p>
水野委員	<p>近鉄の敷地のみですと、タクシーを降りた人は、濡れてしまうわけですね。</p> <p>こられたお客様には、申し訳ないですね。</p>
大橋委員	<p>歩道にある案内看板を見る人も傘をささないと見れませんね。</p>

事務局	広場と道路の間に歩道がありますので、その間は、屋根はございません。
川崎委員	先ほど、水野委員が、言われたとおり、周辺整備が必要ということですね。
今井委員	近鉄ビルと屋根の間にスリットがありますね。 ここは、雨が降ると、利用者の方は、不便に思うでしょうね。
川崎委員	両側に樋があるようですから、濡れるといっても、そこまで雨が入ってくる隙間ではないと思いますね。
菅沼部会長	駅からの地下から出る階段を利用すれば、駅利用者は、濡れなくて済みますね。
水野委員	屋根が出来れば、利用者が色々と物を置いたりすることが考えられますね。
今井委員	そうですね。先ほどから言われていますが、今後の利用のされ方は、非常に大事なことだと思います。放置自転車なども増えると思います。 また、放置自転車をさせないための看板も景観を害していると思います。 ベンチもありますので、今後の運用についてもしっかり検討して欲しいと思います。
川崎委員	いくら、良い物を作ったとしても、その後の管理がずさんになれば、駄目なものになります。都市計画が良くても都市管理がずさんになると意味のないものになりますね。 非常に大切なことなので、行政としてどうするかを考えていただきたいですね。
水野委員	一つ、お願いがあります。 この広場には、行基さんが、居られます。 これは、私たちにとって奈良を表す素晴らしいものだと思います。 行基さんの向いている方向と屋根の軸線がずれます。 ですが、絶対に位置を変えたり向きを変えたりは、しないで欲しいと思います。 行基さんは、触らないで欲しいです。 私は、当初、この屋根の計画には、反対でした。 理由は、行基さんの上に屋根をかけるという計画が、良くないと思いました。 しかし、行基さんは、たくさんの人を救ってこられた方なので、たくさんの人が、助かるならと思うようになりました。 非常に時間は、かかりましたが、今は、これでよいと思っています。 あと、ここの場所について発掘の話は、どうなっていますか。
奈良県	掘り方の時に立会するように文化財から指導を頂いています。

川崎委員	トラスの色でホワイトグレーと書かれている色は、シルバーではないですね。
奈良県	はい。シルバーではありません。
菅沼部会長	<p>今、4案だされていますが、色々、審議を頂いた結果、鉄骨よりも木材を見せるほうが良いだろうとか、柱の本数は出来るだけ少ないほうがいいであるとか、トラスの色についても白い方がいいであるとか色々のご意見を頂戴しました。</p> <p>屋根の色についてもホワイトグレーを利用するほうが、明るさがあるといいのではないかというご意見も頂戴しました。</p> <p>これらのご意見をまとめさせていただいてよろしいでしょうか。</p>
水野委員	木材を巻いている鉄の部分に輪をつけたりして、何か利用できるようにして欲しいですね。
仲谷課長	今のご意見は、事業者に申し伝えます。
菅沼部会長	それでは、ご一任いただけますか。
委員	部会長に一任します。
菅沼部会長	<p>それでは、本日頂きました意見を、全体会議の意見と併せて川崎会長と協議の上、市長への答申とさせていただきます。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p> <p>以上をもって終わらせていただきます。</p>



奈 整 景 審 第 3 号

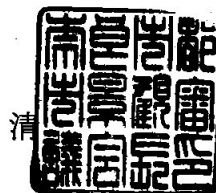
平成24年4月17日

奈良市長

仲川 げん 様

奈良市景観審議会

会長 川崎



第33回奈良市景観審議会及び第16回風致デザイン部会について
(答申)

平成23年12月21日付け、奈整景第109号で依頼のあった「近鉄奈良駅前行基広場屋根設置工事」について、平成24年1月25日に奈良市景観審議会、平成24年4月11日に風致デザイン部会を開催しました。審議した結果、下記の意見を答申します。

記

「近鉄奈良駅前行基広場屋根設置工事」について

- 1、屋根トラスについては、周囲と調和し明るい色彩となるようホワイトグレーとしてください。
- 2、高さについては、周辺の建築物の高さや柱の太さと調和した高さとしてください。

附帯意見

- 1、設置の必要性、広場機能の有効性など、県民の思いをさらに把握し、様々な問題点を解決してください。
- 2、雑然とした駅前空間の解消に努め、駅前広場として統一感のある景観形成を進めてください。

以上